



ブラジル三菱東京UFJ銀行 DAILY MARKET REPORT

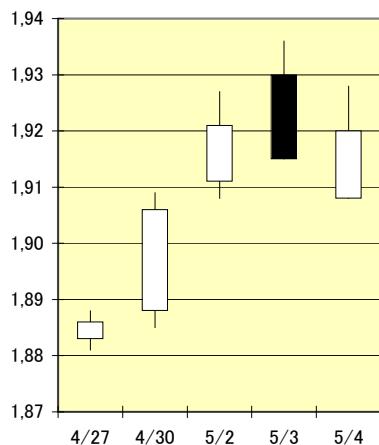
UFJ

1. Market Rate

			4月27日	4月30日	5月2日	5月3日	5月4日	Net Chg
Forex	USD/REAL	Spot	1,8860	1,9060	1,9210	1,9150	1,9200	+0,0050
	USD/YEN	Spot	80,29	79,79	80,13	80,19	79,87	-0,32
	EURO/USD	Spot	1,3258	1,3240	1,3154	1,3153	1,3086	-0,0067
	REAL/YEN	Spot	42,57	41,86	41,71	41,88	41,60	-0,28
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,69	1,64	1,56	1,66	1,68	+0,02
		1Year(p.a.)	2,16	2,07	2,05	2,11	2,10	-0,00
	Real Interest	6MTH(p.a.)	8,32	8,32	8,20	8,17	8,04	-0,13
		1Year(p.a.)	8,29	8,32	8,16	8,12	7,99	-0,13
Stock	Bovespa		61,691,21	61,820,26	62,423,56	62,104,15	60,820,93	-1,283,22
Bond	EMBI+(bp)		187,00	186,00	181,00	180,00	185,00	+5,00
	Global 40		132,750	132,700	132,700	132,800	132,600	-0,2000

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

直近5営業日U\$/R\$推移



[来週の予想相場レンジ]

1.90～1.95

[来週の為替市場注目点]

今週は貯蓄預金利の見直しの噂を受けてマーケットが追加利上げを織り込み始める、レアルも大幅に売られ約7ヶ月振りの水準まで下落した。来週もマーケットがどこまで追加利下げを織り込みに行くのかがレアル相場の動向を見る上で一つのポイントとなろう。一方で、週末の6日にはフランス大統領選挙の決選投票やギリシャ国民議会選挙が控えており、結果如何によっては欧州の債務危機懸念が再燃することも想定され、外部要因によるレアル急落リスク等には引き続き注意が必要であろう。

- 伯インフレ指数: IPC-S, IGP-DI(8日), IPCA(9日), IGP-M(10日)
伯週間貿易収支、自動車生産・販売・輸出(7日)
- 米卸売在庫・売上(9日)、輸出入物価指数、貿易収支、財政収支(10日)
米生産者物価指数、ミシガン大消費者信頼感指數速報(11日)
- 日: 日銀金融政策決定会合議事録(7日)

2. 市況、トピックス (As of mai-04)

【貯蓄預金利の見直しを受けた大幅追加利下げ観測の台頭からレアルは週を通じて売られ 1.93 台まで下落】

今週の為替相場はU\$1=R\$1. 8880で寄り付いた。オーバーナイト市場で米大手格付け機関がスペインの信用格付け及び大手複数行の格付けを引き下げたことや、同国が2009年以降で2回目のリセッションに陥ったことなどを受けて欧州債務危機懸念が俄かに再燃すると“リスク資産”的代表である株式市場が軟調推移となり、レアルも週初から売りが優勢の展開となった。4/30は連休の狭間とすることもあり市場参加者が限られる中、思惑的な動きも加わりレアルは1. 90台まで下落した。祝日明けの5/2も弱めの欧州指標を手掛かりにレアル安が更に進行。また市場では貯蓄預金の利率変更に関する噂が飛び交い、政策金利(SELIC)の大幅な追加利下げ観測の台頭を受けて先物金利が急落。レアルも先物金利の急落に歩調を合わせる格好で続落し、1. 92台後半まで下値を拡大した。翌5/3に発表された3月伯鉄工業生産が予想を大幅に下回る結果となるとレアルは続落し、昨年9/22以来の水準となる1. 9360まで下値を拡大した。その後は大口のインフローの噂からレアルは買い戻され、1. 91台半ばまで反発した。尚、マーケット終了後にマンテガ財務相より貯蓄預金利の見直しが発表され、これまでの固定金利からSELIC金利に連動する方法に変更された(SELIC金利が8.5%に達した段階でSELIC金利の70%に引き下げられる)。本日の為替相場はU\$1=R\$1. 9080でオープン。昨晩に貯蓄預金利の見直しが行われ、マーケットが朝方から追加利下げを織り込み始める中、本日注目の4月米雇用統計が発表され非農業部門雇用者数が市場予想を下回る弱い結果となると市場は一気にリスクオフモードとなり、株を中心にリスク資産が売られる展開となった。レアルも緩やかながらじりじりと売りが優勢となり正午過ぎには本日のレアル安値となるU\$1=R\$1. 9280を付けた。午後にかけてややレアルが買い戻される場面も見られたが、昨晩の貯蓄預金利変更を受けて大幅な追加利下げを織り込む格好で長短共に先物金利が大きく低下しておりレアルの買戻しも限定的となった。市場関係者からは最終的にSELICが8%を割り込む等の声も聞かれ始める中、レアルは引けにかけても上値の重い展開が続き、結局U\$1=R\$1. 9200で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。なお、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮ください。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。